



# 成城の風



発行者：青少年成城地区委員会 会長 辻 紀子 / 事務局：成城まちづくりセンター



## 子どもたちと共に地域に生きる



青少年成城地区委員会は約50名の大人たちが集まり、子どもたちが地域で健やかに成長できるように様々な事業を行っています。赤いエプロンは私たちの目印。子どもたちの笑顔や明るい挨拶が、私たちの活動の原動力です。

# 第21回せいじょう地域文化祭 ～オンライン～



### 第21回 せいじょう地域文化祭



開催情報  
日時 12月5日(日) 下記HPにて公開開始  
期間 3月末まで(予定)

「せいじょう地域文化祭」は、地域との交流を深めるため、子どもと大人が一緒になって作り上げるお祭りです。例年、ステージ発表やもぎ店、ゲームや工作ができるキッズコーナー、地域団体のPRコーナーなどで盛り上がりますが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、初めてのオンライン開催となりました。青少年成城地区委員会のホームページにて、ご応募いただいた作品を公開しています。



中高生ボランティア作成のポスター

### 【社会長より】



おそろいの赤いエプロンを身に着けたのは2年ぶり、今から皆で楽しいことを始めようという気分になります。形を変えた文化祭です。新しいボランティアや参加者に恵まれ、これからの地区委員会の姿が見えるようです。

12月5日(日)のホームページ公開日には、委員や中高生ボランティアの皆さんと成城ホールにて作品を視聴しました。

### ●応募作品公開中●

<https://www.seishonen-seijo.org>  
令和4年3月31日(木)まで(予定)  
ぜひご覧ください!



たくさんのご応募  
ありがとうございました!  
作品紹介は次ページ→

# ●動画部門●

成城近隣の学校より“日頃の活動成果”をテーマに動画を募集しました。迫力ある演奏や踊り、元気いっぱいの活動風景などを届けてくれました。※動画部門は学校関係者のみの公開となっています。

明正小学校 5年1組 6年4組



千歳小学校 吹奏楽団



砧中学校 吹奏楽部



東京都市大学付属中学校高等学校吹奏楽部



明正小HAPPY☆エイサーズ



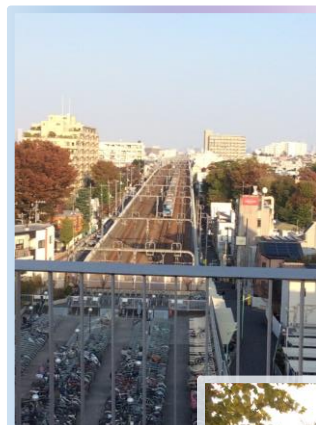
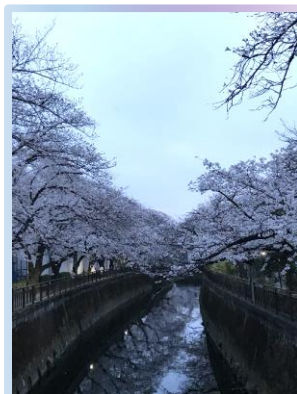
# ●写真部門●

“あなたの見つけた成城”というテーマで、成城らしい1コマを募集しました。成城といえば「自然豊か!」を実感するような作品が多く集まりました。



「秋の続き」

「黄昏時」



「緑を走る成城列車」

「夕日の落ち葉」



成城学園写真部の皆さんからも素敵な写真をご応募いただきました。

その他全作品は  
ホームページ内で紹介しています。

# ●マスコット部門●

“みんななかよし”をイメージした文化祭のキャラクターを募集しました。みんな一生懸命考えてくれた素敵な作品ばかりです。



## ★中高生ボランティア Seiyo Let'sの活躍★

今回はオンラインでの文化祭となり、中高生ボランティアには本当に活躍してもらいました。いつものお手伝いと全く違い、新しいPCやタブレットを駆使して作品を加工編集したり、文字や絵を描きながらポスターを作ったりと、委員だけではできないようなセンスで積極的に制作に関わってくれました。今年のオンライン文化祭が、内容だけでなく、ボランティアの関わり方にも大きな変化と可能性をもたらしてくれました。



編集ページ確認中

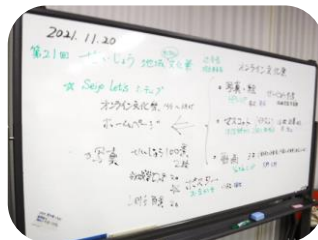
ポスター制作



高校生、大学生になったLet'sメンバーも、お手伝いに来てくれました！



ホームページ編集



打合せ風景



# 校長先生紹介&ミニインタビュー

## ●質問●

- ①タブレット端末を活用した特色ある取り組みを教えてください。
- ②校内のお気に入り風景やスポットはどこですか？
- ③タイムマシーンがあったらどうする？！

先生方、  
ご協力ありがとうございます！  
ございました！

## 明正小学校 栗林大輔 校長先生



①6年生外国語では、録音した英語のスピーチを子どもたち同士で聞き合いました。音楽では、グループでの演奏をロイロノートで集め、他のグループの演奏を聴いたり、保護者の方にも聞いていただけるようにしています。体育では、自分の動きを動画で撮ってそれを見直すなど、大きいデジカメのような使い方もしています。1年生も、学校のお気に入りの場所、おうちの人に紹介したい場所を写真に撮って、家庭で見ってもらうなどしています。5年生図工では、コマ撮り写真によるアニメーション制作も行いました。タブレット端末による新しい教材から、対話的な学びが深まっています。

### ②『明るく、正しく、たくましく』



のスローガンがよく見える校舎の風景です。里山もとても素敵な場所です。

③今が一番幸せなので、乗りません！

## 千歳小学校 石川淳 校長先生



①千歳小では、教材としてではなく、文房具として使用しています。1日2コマ程度で子どもたちも上手に使いこなしています。5年生の川場村移動教室においては、写真や動画を撮ったり、レポートを作成したり、現地では連絡手段としても使っていました。



②校門の水車と桜の木です。来校される親子連れがこの風景を眺めていることがあり、郷土の学校という風景に見えます。

③交通手段として、子どもたちを連れていろいろな過去に行きたいです。例えば、6年生と江戸時代に行くなど、実際に見ることで生きた学習となるでしょう。未来をよくするために今の自分たちがあるので、過去限定です。

## 砧中学校 建部豊 校長先生



### ①各科工夫しています。

1年生の国語授業で教科書の小説を班ごとに映像化しました。人物の心情の読みも深まり面白い取り組みでした。



②南門から見える富士山です。毎日6:50頃登校し校内を一周するのですが、南門の階段から富士山が見えるとその日の生徒の無事を祈って手を合わせます。

③中2に戻りたいです。自分は同級生のYさんを好きで、その噂が広まっていたある日の昼休み、Yさんが友達Iさんと自分の所に来たんです。Iさんから「建部君、Yさんのこと好きなの？」と唐突に言われ、とっさに「好きじゃねえよ」と答えてしまった…あの時に戻って素直な気持ちを伝えたいです。

## 千歳中学校 山本武 校長先生

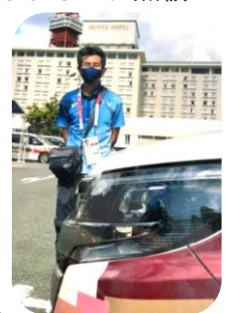


①すべての授業でiPadを使用しています。現2年生の英語の都立高入試にspeakingのテストが取り入れられることもあり、マイクを通してiPadに録音し、ALTの先生等がチェックする取り組みも行っています。



②校長室横のスペースをもっとおしゃれに、かっこよくしようと思い、自ら木の下地を打ち付け、写真をレイアウトしました。黒板

アートも制作時間3時間の自作です。やってみなさいと生徒に進める前にまず自分でトライ！夏には東京オリンピックの送迎ボランティアも経験しました。



③未来を知ってしまうとつまらないので、自分が産まれた時や初節句の時、両親がどんな様子で自分に接していたのか、過去に戻って見てみたいです。

【問い合わせ先】世田谷区 成城まちづくりセンター（青少年成城地区委員会 事務局）

TEL：03-3482-1348（平日8:30～17:00）

FAX：03-3482-7208

※無断複写・転載を禁じます。